

令和3年度 地方創生関連交付金等の 達成状況

目次

<地方創生交付金等事業で掲げた重要業績評価指標（KPI）の達成状況>

| | | |
|----|-----------------------------------|----|
| 1 | 地方創生推進交付金（平成29年度事業開始分） | 1 |
| 2 | 地方創生推進交付金（令和元年度事業開始分） | 3 |
| 3 | 地方創生推進交付金（令和2年度事業開始分） | 7 |
| 4 | 地方創生推進交付金（令和3年度事業開始分） | 9 |
| 5 | 地方創生推進交付金（令和元年度事業開始分、移住・起業・就業タイプ） | 11 |
| 6 | 地方創生拠点整備交付金（平成29年度事業） | 13 |
| 7 | 地方創生拠点整備交付金（平成29年度採択、平成30年度繰越事業） | 15 |
| 8 | 地方創生拠点整備交付金（平成30年度採択、令和元年度繰越事業） | 17 |
| 9 | 地方創生拠点整備交付金（令和元年度採択、令和2年度繰越事業） | 19 |
| 10 | 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） | 21 |

<地方創生交付金等事業の主な取組内容>

| | | |
|----|---------------------|----|
| 11 | 地方創生推進交付金 | 23 |
| 12 | 地方創生拠点整備交付金 | 29 |
| 13 | 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） | 31 |

令和4年10月
京 都 府

<地方創生交付金等事業で掲げた重要業績評価指標（KPI）の達成状況>

| ①地方創生推進交付金（H29年度事業開始分） | | | | | | | | |
|------------------------|--|----|--------------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| KPI(重要業績評価指標)の項目 | | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
| | | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 1 | サテライトオフィスの誘致件数（年間） | 件 | 0 (H28) | 1 | 4 | 10 | 18 | 29 |
| 2 | 田舎の地域で就職した者数（年間） | 人 | 93 (H28) | 103 | 115 | 126 | 137 | 148 |
| 3 | 大学等と連携した地域課題解決のためのフィールドワークに参加した学生数（年間） | 人 | 5,181 (H28) | 5,500 | 5,770 | 6,040 | 6,310 | 6,580 |

目標に対する達成状況・取組状況等

| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
|-----------------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|---|
| H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| 1 (100.0%) | 0 (0.0%) | 4 (40.0%) | 9 (50.0%) | 5 (17.2%) | テレワークやワーケーション等、過疎地域における新たな働き方の拠点としてサテライトオフィスを誘致するため、オフィス見学ツアー（オンライン）等を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響による人流の抑制により、企業訪問等の誘致活動を積極的に行うことができず、目標達成には至らなかった。今後は、相楽東部スマートワークオフィスPRページ等、利用促進のための広報ツールの活用や、サテライトオフィスの拡充等を進め、誘致件数の増加に努める。 |
| 94 (91.3%) | 130 (113.0%) | 113 (89.7%) | 69 (50.4%) | 100 (67.6%) | オンラインイベントの普及により昨年度より増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、人流抑制が求められ、効果的に京都府北部の魅力を発信する機会が少なかったため、目標達成には至らなかった。今後は、オンラインだけでなく、感染対策を講じた上、対面式のイベントも実施し、北部の魅力発信、就職内定へつなげていく。 |
| 6,804 (123.7%) | 6,871 (119.1%) | 7,000 (115.9%) | 5,168 (81.9%) | 5,977 (90.8%) | 大学卒業後に地域産業を支える若者の増加を目指すCOC+事業との相乗効果もあり、各大学においてフィールド演習等の活動が定着してきた。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多数のクラスが閉講となる等、参加者数が減少したが、感染対策を行いつつ開催するなど少しずつ参加者数が回復傾向にあり、引き続き取組に対し支援をしていく。 |

②地方創生推進交付金（R元年度事業開始分）

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|---|-----|-----------------|----------------|--------|--------|----|----|
| | | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
| 4 北部地域（福知山市、舞鶴市、京丹後市）の製造業事業所数 | 件 | 419 (H29) | 431 | 443 | 459 | — | — |
| 5 北部地域（福知山市、舞鶴市、京丹後市）の製造業従業者数 | 人 | 15,732 (H29) | 16,203 | 16,674 | 17,303 | — | — |
| 6 日本海側拠点港京都舞鶴港のコンテナ取扱量 | TEU | 13,402 (H29) | 14,402 | 15,402 | 16,402 | — | — |
| 7 北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）における若手人材の地元企業定着率（府立工業高校、府立峰山高校の地元就職率） | % | 56 (H30) | 58 | 61 | 65 | — | — |
| 8 大河ドラマ「麒麟がくる」関連観光スポットの観光入込客数（福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・亀岡市・長岡京市・京丹後市・大山崎町・南丹市・京丹波町・丹波市・丹波篠山市） | 万人 | 418 (H30) | 441 | 470 | 475 | — | — |
| 9 大河ドラマ「麒麟がくる」関連の観光スポットの観光消費額（福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・亀岡市・長岡京市・京丹後市・大山崎町・南丹市・京丹波町・丹波市・丹波篠山市） | 億円 | 202 (H30) | 210 | 225 | 234 | — | — |
| 10 京都舞鶴港におけるクルーズ船の寄港数（年間） | 回 | 23 (H30) | 28 | 33 | 38 | — | — |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|-------------------|----|----|--|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | |
| 410 (95.1%) | 408 (92.1%) | 未発表 — | — | — | <p><R 3年度実績は、R 4年12月判明予定> 【令和2年度実績】 北部産業創造センターや丹後・知恵のものづくりパークを核に、北部地域の新産業創出や事業化の促進等の取組を支援するものの、事業所数が近年減少傾向にあり、さらに、コロナ禍による経済活動の停滞による需要の低迷や誘致活動の制限もあり、府北部地域においても減少が進み、目標達成には至らなかった。 今後は、POSTコロナ社会における新たな需要を踏まえ、オンラインも活用の上、企業誘致活動や、北部地域の高等教育機関と企業との連携促進事業を積極的に展開していく。</p> |
| 16,140 (99.6%) | 16,090 (96.5%) | 未発表 — | — | — | <p><R 3年度実績は、R 4年12月判明予定> 【令和2年度実績】 北部産業創造センターや丹後・知恵のものづくりパークを核に、北部地域におけるものづくり人材の育成に向けた取組等を支援するものの、コロナ禍による経済活動の停滞による需要の低迷や誘致活動の制限により目標達成には至らなかった。 今後は、POSTコロナ社会における新たな需要を踏まえ、京都ジョブパークでのUIターン就職希望者等、幅広い府民の就業支援を実施するとともに、オンラインも活用の上、行政機関・商工会議所・商工会等との連携による企業説明会の開催や高校生新卒者確保のためのセミナーの実施など人材確保を促進する。</p> |
| 13,145 (91.3%) | 11,933 (77.5%) | 10,746 (65.5%) | — | — | <p>昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響がある中、年間900社を超える企業訪問や展示会出展等による集荷活動に取り組んだが、海外工場のロックダウンや世界的な物流の混乱に起因するスケジュールの乱れにより、貨物が減少し、目標達成には至らなかった。 引き続き、ポートセールス活動や、京都舞鶴港の利用を前提とした企業立地の推進により、目標達成を図る。</p> |
| 64 (110.3%) | 51 (83.6%) | 60 (92.3%) | — | — | <p>製造業の求人数の回復により、昨年度に比べ就職者数が増加したが目標達成には至らなかった。 地元企業の企業研究会を実施し、地元企業への就職・定着を図っていく。</p> |
| 434 (98.4%) | 456 (97.0%) | 418 (88.0%) | — | — | <p>大河ドラマに関連した情報発信やプロモーション活動に継続して取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館・営業時間短縮やイベント中止等を行った結果、目標達成には至らなかった。 今後もドラマ放映を契機とした誘客を継続できるよう、関係市町・関係団体と連携し、観光スポットのPR等を進めていく。</p> |
| 205 (97.6%) | 216 (96.0%) | 172 (73.5%) | — | — | <p>大河ドラマに関連した情報発信やプロモーション活動に継続して取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館・営業時間短縮やイベント中止等を行った結果、目標達成には至らなかった。 今後もドラマ放映を契機とした誘客を継続できるよう、関係市町・関係団体と連携し、観光スポットのPR等を進めていく。</p> |
| 34 (121.4%) | 0 (0.0%) | 4 (10.5%) | — | — | <p>令和2年10月以降、日本船（3社）による日本国内クルーズが再開され、令和3年度には国等によるガイドライン等に基づき感染症対策を行いながら舞鶴港発着クルーズを含む計4回の寄港受入を行った。 今後は、水際対策の動向を注視しながら外国船の寄港再開に向けて、関係機関とも連携して受入に取り組んでいく。</p> |

②地方創生推進交付金（R元年度事業開始分）

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|-----------------------|-----|----------------|----------------|--------|--------|----|----|
| | | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
| 11 亀岡市観光消費額 | 百万円 | 7,469 (H30) | 7,618 | 7,770 | 7,925 | — | — |
| 12 バス・シェアサイクルの利用者数 | 人 | 0 (H30) | 4,000 | 10,000 | 16,000 | — | — |
| 13 マルシェ連合への出店のべ事業者数 | 者 | 0 (H30) | 30 | 150 | 220 | — | — |
| 14 マルシェ連合売上高 | 千円 | 0 (H30) | 4,500 | 25,500 | 44,000 | — | — |
| 15 観光産業に係る飲食費の増加 | 億円 | 2,294 (H30) | 2,470 | 2,660 | 2,865 | — | — |
| 16 京都ブランド製品の販売額の増 | 億円 | 18 (H30) | 18.9 | 19.9 | 21.0 | — | — |
| 17 伝統産業(陶磁器産業)の生産額の増加 | 億円 | 28 (H30) | 28.35 | 28.75 | 29.20 | — | — |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | |
|-----------------------------|------------------|-------------------|----|----|--|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | |
| 8,620 (113.2%) | 4,845 (62.4%) | 4,275 (53.9%) | — | — | 大河ドラマに関連した情報発信やプロモーション活動に継続して取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館・営業時間短縮やイベント中止等を行った結果、目標達成には至らなかった。 今後もドラマ放映を契機とした誘客を継続できるよう、関係市町・関係団体と連携し、観光スポットのPR等を進めていく。 |
| 169 (4.2%) | 3,540 (35.4%) | 1,043 (6.5%) | — | — | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の影響により、利用者数が伸びなかった。 今後は、亀岡市と連携し、市内観光客に対する広報等を強化することにより、シェアサイクルの利用者数の増加を図る。 |
| 0 (0.0%) | 47 (31.3%) | 213 (96.8%) | — | — | 雨天でのマルシェ開催中止（5試合）及び新型コロナウイルス感染症の影響によるJリーグの観客数制限のため、出店数が伸びなかった。 今後は、イベント開催制限の状況を見ながら、亀岡市と連携し、スタジアム来場者に対する広報等を強化することにより、マルシェ連合への出店数の増加を図る。 |
| 0 (0.0%) | 3,562 (14.0%) | 13,601 (30.9%) | — | — | コロナ対策として、Jリーグの観客数が制限されたことに加え、テイクアウトのみの販売やアルコール提供禁止等の制限がなされたため、マルシェの開催回数や来場者数が減少し、売上高が想定より伸びなかった。 今後は、イベント開催制限の状況を見ながら、亀岡市と連携し、スタジアム来場者に対する広報等を強化することにより、マルシェ連合への出店数の増加を図る。 |
| 2,884 (116.8%) | — | — | — | — | 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光庁が訪日外国人消費動向調査を中止したため、令和3年度は算出不可。 |
| 16.5 (87.3%) | 14.9 (74.9%) | 15.7 (74.8%) | — | — | 家庭需要の増加や出荷新規格の拡大等により、万願寺甘とう、えびいも、京たんごメロンの出荷額が過去最高となった。 一方、飲食店への需要が大きい賀茂なすや花菜等の出荷額は昨年度より回復傾向なもの、コロナ禍前までの水準には戻っていない。 POSTコロナに向け徐々に行動制限の解除が始まっていることから、今後は、販促イベントを復活するとともにコロナ禍で培われたオンライン・SNS等を活用した販売戦略を組み合わせ販売額の増加を図る。 |
| 28 (98.8%) | 28 (97.4%) | 27 (92.5%) | — | — | 前年度に引き続き、コロナ禍により対面での販売や商談ができず、厳しい状況が続いたが、現代のライフスタイルにマッチした国内外向けの商品開発や販路開拓に対する支援等に取り組む、特にECを活用した販路開拓に積極的に取り組んだ。 今後は、ECを活用した販路開拓に引き続き取り組んでいくとともに、サブスクリプションの仕組みを活用した販売など、新たな販路開拓に取り組んでいく。 |

③地方創生推進交付金（R2年度事業開始分）

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|---|----|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|
| | | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 18 本事業（※）における作家、職人、アート&クラフトプロデューサーなどの育成数 ※アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業 | 人 | 0 | 180 | 205 | 235 | 255 | 265 |
| 19 アートフェア等でのアート&クラフト商品の売上高 | 千円 | 0 | 400,000 | 500,000 | 600,000 | 700,000 | 800,000 |
| 20 本事業（※）におけるアート&クラフトを軸としたイベント等の参加者数 ※アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業 | 人 | 0 | 43,000 | 45,500 | 48,000 | 50,500 | 53,000 |
| 21 地域での農林水産業への新規就業者増加数（府立高校の職業科を卒業して農業大学校等への進学した者を含む） | 人 | 0 | 0 | 10 | 30 | — | — |
| 22 他地域の居住者の京都府内農山漁村地域における起業数（サテライトオフィスの設置等を含む） | 社 | 0 | 0 | 4 | 8 | — | — |
| 23 地域の課題解決に取り組む集落数 | 地区 | 8 | 9 | 10 | 16 | — | — |
| 24 本事業（※）における相談件数（累計） ※中小企業事業強化・継続支援事業 | 件 | 426 | 626 | 856 | 1,106 | — | — |
| 25 本事業（※）における人材紹介会社等取次件数（累計） ※中小企業事業強化・継続支援事業 | 件 | 173 | 243 | 333 | 433 | — | — |
| 26 本事業（※）における成約件数（累計） ※中小企業事業強化・継続支援事業 | 件 | 69 | 94 | 124 | 159 | — | — |
| 27 本事業（※）における事業承継診断件数（累計） ※中小企業事業強化・継続支援事業 | 件 | 286 | 1,398 | 2,998 | 4,998 | — | — |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | |
|-----------------------------|--------------------|----|----|----|--|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| 103 (57.2%) | 129 (62.9%) | | | | 「ARTISTS' FAIR KYOTO」や「京都アトラウンジ」等のアートフェアを開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響による開催方法の変更などにより、当初見込んでいた参加者を確保できず、目標達成には至らなかった。今後は参加者確保に向け、開催方法の見直しを行い、目標数値の達成をめざす。 |
| 37,458 (9.4%) | 314,850 (63.0%) | | | | 日本を代表するコレクターをはじめ、若手IT経営者や複数のコレクターグループ、多数の美術関係者の来場もあり、売上高が大幅に回復した。引き続き、アートフェアの開催や参加者確保に向けた取組を推進し、目標数値の達成をめざす。 |
| 20,764 (48.3%) | 41,939 (92.2%) | | | | 「Art Collaboration Kyoto」や「ARTISTS' FAIR KYOTO」等のアートフェアの開催に当たり、感染症対策として、メイン会場の他にサテライト会場を京都市内に設置し、会場を分散させたことにより、参加者数は大幅に回復した。今後も、会場における感染防止対策を徹底しつつ参加者数の確保に努める。 |
| 4 — | -11 (-110.0%) | | — | — | — — |
| — | 2 (50.0%) | | — | — | — — |
| 11 (122.2%) | 11 (110.0%) | | — | — | — — |
| 650 (103.8%) | 916 (107.0%) | | — | — | — — |
| 290 (119.3%) | 505 (151.7%) | | — | — | — — |
| 104 (110.6%) | 136 (109.7%) | | — | — | — — |
| 3,379 (241.7%) | 8,455 (282.0%) | | — | — | — — |

| ④地方創生推進交付金（R3年度事業開始分） | | | | | | | | |
|-----------------------|---|----|-------|----------------|--------|--------|-------|-------|
| KPI(重要業績評価指標)の項目 | | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
| | | | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 28 | モデル地域市町村における人口の社会減解消 | 人 | -926 | -826 | -626 | -426 | -226 | 0 |
| 29 | 市町村による重点取組エリアの設定 | 箇所 | 4 | 9 | 14 | 19 | 24 | 29 |
| 30 | エリア内の起業数、雇用数等（関係人口の創出） | 件 | 0 | 60 | 145 | 235 | 325 | 580 |
| 31 | 地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数 | 人 | 704 | 754 | 814 | 924 | 1,034 | 1,144 |
| 32 | 地域での新規就職者数 | 人 | 1,053 | 1,153 | 1,253 | 1,353 | 1,453 | 1,553 |
| 33 | 本事業（※）により空き家等を活用して交流を行う拠点数 ※あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～ | 箇所 | 0 | 0 | 3 | 7 | 11 | 15 |
| 34 | 地域の一人当たり所得向上額 | 千円 | 3.6 | 53.6 | 113.6 | 183.6 | 263.6 | 363.6 |
| 35 | サンガスタジアム by KYOCERAで開催されるeスポーツ及びプログラミングイベントの参加人数（オンライン参加を含む） | 人 | 0 | 4,000 | 10,000 | 20,000 | — | — |
| 36 | プログラミング・サイバーセキュリティ等の高度デジタル人材の育成人数（講座受講者数を含む） | 人 | 0 | 100 | 500 | 800 | — | — |
| 37 | 小中学生向けプログラミングイベント参加者数 | 人 | 0 | 100 | 150 | 200 | — | — |

| 推進交付金※ | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|------------|--------|--------|--------|
| 単年度達成率（%） | 128.8% | 171.4% | 107.7% |
| 最終目標達成率（%） | 78.5% | 76.3% | 79.8% |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | |
|-----------------------------|----|----|----|----|--|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| -363 (563.0%) | | | | | 各市町のまちの核（中心エリア）形成の支援、まちの特性を活かした若者が住みたくなるまちの形成支援等の取組による子育てにやさしいまち（誰もが住みやすいまち）の核づくりを通じ、対象市町における社会減抑制の目標を達成。 |
| 12 (133.3%) | | | | | 市町村による地域全体で子育てしやすいまちづくりを進めるための取組を、ハード・ソフトの両面から包括的に支援する子育てにやさしいまちづくり事業におけるエリア設定 8件（累計12件） |
| 未発表 — | | | | | <令和7年12月頃判明予定> |
| 758 (100.5%) | | | | | 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、屋外イベントを中心に取り組んだことにより目標を達成することができた。引き続き、移住者の増加に向け、改正された「京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例」に基づく各種施策を実施することにより、移住促進に取り組む。 |
| 924 (80.1%) | | | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により求人数が少ない状況が続く、目標達成には至らなかった。 今後はDMO等と連携し、地域の魅力ある仕事づくりや、暮らしやすさ向上による移住定住の促進に取り組んでいく。 |
| 2 — | | | | | 古民家等の歴史的資源や遊休施設等を活用する地域の取組を支援し、持続的な地域づくりの推進を行うことを目的に設立した「地域づくり京ファンド」を活用し、地域の交流拠点や、新たな観光・体験拠点の整備を行った。 引き続きDMO等と連携し、新たな拠点整備を進めていく。 |
| 74 (138.1%) | | | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により地域への誘客が難しい状況の中、巣ごもり需要を捉え、DMOのECサイト等において地域の特産品を販売することにより、所得の増加に繋げることができた。 |
| 4,231 (105.8%) | | | — | — | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設の休止により利用者数が減少したが、eスポーツの大規模大会やプログラミングの周知を図る体験イベント等を実施し目標数値を達成した。 今後も引き続き、事業者等と協力してeスポーツ等の裾野を広げ、地域の活性化を図るため、大規模大会や各イベントの周知に努める。 |
| 108 (108.0%) | | | — | — | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインでの開催となり、プログラミング・サイバーセキュリティ大会の参加者や講座受講者数が減少したが、eスポーツに関する人材及び高度デジタル人材の育成事業を行い、目標数値を達成した。 今後も引き続き、参加者の誘致に努め、さらなる利用者の増加を図る。 |
| 126 (126.0%) | | | — | — | 亀岡市内の各小中学校への無料体験のチラシ配布やSNS・HP等による周知を行ったことにより、小中学生向けプログラミングイベントの参加者の目標数値を達成した。 今後も引き続き、各学校に広報し、参加者の誘致に努め、さらなる利用者の増加を図る。 |

| 元年度 | 2年度 | 3年度 | ※「移住・起業・就業タイプ」(no.38～no.45) 除く |
|-------|-------|-------|--------------------------------|
| 83.8% | 68.4% | 97.9% | |
| 78.0% | 57.8% | 58.9% | |

⑤地方創生推進交付金【移住・起業・就業タイプ】（R元年度事業開始分）

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | | |
|--|----|------------|----------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 38 本移住支援事業に基づく移住就業者数 | 人 | 0 (H30) | 59 | 117 | 435 | 763 | 1,106 | 1,469 |
| 39 本移住支援事業に基づく移住起業者数 | 人 | 0 (H30) | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | 11 |
| 40 本起業支援事業に基づく起業者数 | 人 | 0 (H30) | 10 | 25 | 40 | 55 | 70 | 85 |
| 41 マッチングサイトに新たに掲載された求人数 | 件 | 0 (H30) | 400 | 800 | 1,200 | 1,600 | 2,000 | 2,400 |
| 42 本事業(※)により新規就業が実現した者の数(新規就業者数) ※京都版女性等の就業加速化総合支援・退職人材活躍支援プロジェクト事業 | 人 | 0 (H30) | 1,450 | 2,970 | 4,560 | 6,220 | 7,950 | 9,750 |
| 43 本事業(※)により新たに求職登録に至った者の数(新規求職者数) ※京都版女性等の就業加速化総合支援・退職人材活躍支援プロジェクト事業 | 人 | 0 (H30) | 2,250 | 4,500 | 6,800 | 9,100 | 11,450 | 13,800 |
| 44 「本事業(※)により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)」のうち、高齢者の新規就業者数 ※京都版女性等の就業加速化総合支援・退職人材活躍支援プロジェクト事業 | 人 | 0 (H30) | 200 | 420 | 660 | 920 | 1,200 | 1,500 |
| 45 「本事業(※)により新たに求職登録に至った者の数(新規求職者数)」のうち、高齢者の新規求職者数 ※京都版女性等の就業加速化総合支援・退職人材活躍支援プロジェクト事業 | 人 | 0 (H30) | 250 | 525 | 825 | 1,150 | 1,500 | 1,875 |

| |
|------------------------|
| 推進交付金 (移住・起業・就業タイプ) |
| 単年度達成率(%) |
| 最終目標達成率(%) |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|-------------------|----|----|----|---|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| 1 (1.7%) | 1 (0.9%) | 1 (0.2%) | | | | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等の影響により、首都圏での移動が困難となり、相談、マッチングイベント等の機会が減少した。また、移住先市町においても、首都圏在住者の受け入れが制限されたことにより、目標達成には至らなかったが、今後、首都圏からの移住を検討するニーズに対応する求人を増やし、移住者の増加を目指していく。 |
| 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | | | | 起業支援金の採択者には移住起業者はおらず、実績は0件となった。 今後は、本事業説明の際に、対象市町を広報し、件数増加へつなげていく。 |
| 9 (90.0%) | 11 (44.0%) | 13 (32.5%) | | | | 応募が59件あり、16件採択したものの、当初の計画どおり事業ができず3件中止となったことから、起業実績は13件となった。 今後も、採択事業者に対する伴走支援に力を入れるとともに、起業数増加に向けた対象者の掘り起こしに取り組んでいく。 |
| 306 (76.5%) | 416 (52.0%) | 407 (33.9%) | | | | 新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化を受け、府内企業の求人件数が減少した。移住支援金対象市町へ訪問等を行ったが、求人増加につながらなかった。コロナ禍により働き方が多様化する中、今後は、地方企業ならではの求人を中心に開拓し、求人数の増加を図る。 |
| 1,525 (105.2%) | 2,953 (99.4%) | 4,432 (97.2%) | | | | 子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方、さらに子育てを終えた方など、それぞれの働き方のニーズに応じた就業支援を実施したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等の影響により、マザーズジョブカフェの利用者が減少したことから、目標達成には至らなかった。 |
| 2,551 (113.4%) | 4,626 (102.8%) | 6,848 (100.7%) | | | | 就職説明会における仕事と子育ての両立が可能な企業の出展や府内6地域（峰山地域、宮津地域、舞鶴地域、綾部地域、南丹地域、山城地域）での就職に関する巡回相談の実施など、多様な形態で支援を行った結果、目標達成につながった。 |
| 57 (28.5%) | 38 (9.0%) | 45 (6.8%) | | | | 企業・高齢者向けのセミナーや高齢者向けの企業説明会をオンラインを活用しながら予定どおり実施し、就業者数は令和2年度から微増したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による求人数の減少により目標達成には至らなかった。 令和4年度は、ジョブパーク利用者や関係機関等を対象とした広報を積極的に行うなど、本事業の活用につなげていく。 |
| 243 (97.2%) | 291 (55.4%) | 334 (40.5%) | | | | 企業・高齢者向けのセミナーや高齢者向けの企業説明会をオンラインを活用しながら予定どおり実施し、求職者は昨年と比べ微増したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。 令和4年度は、ジョブパーク利用者や関係機関等を対象とした広報を積極的に行うなど、本事業の活用につなげていく。 |

| 元年度 | 2年度 | 3年度 |
|-------|-------|-------|
| 64.1% | 45.4% | 39.0% |
| 9.3% | 14.0% | 18.5% |

⑥地方創生拠点整備交付金
※H29年度事業

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|--|----|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 46 子ども発達支援センターで相談支援を受けた世帯の平均児童数の増加幅 | 人 | 0 | 0.05 | 0.10 | 0.15 | 0.20 | 0.25 |
| 47 発達障害を持つ児童が初診を受けるための待機期間の短縮 | 月 | 9 | -2.00 | -3.50 | -4.50 | -5.00 | -5.50 |
| 48 医療機関と連携し、医師に対して臨床を含めた研修を実施し、地域において発達障害を持つ児童を診ることができる医師を養成 | 人 | 0 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | |
|-----------------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|---|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 新たに相談支援を受けた世帯の中に妊娠・出産した方がいなかったため、平均児童数は増えていないが、相談件数は伸びている（R元年度：533件、R2年度：573件、R3年度：710件）。今後もきめ細かな相談支援を行い、支援世帯の児童数の増加につなげる。 |
| -2.0 (100.0%) | -3.5 (100.0%) | -4.5 (100.0%) | -5.0 (100.0%) | -3.0 (54.5%) | 診療部門と連携した発達障害に係る相談及び放課後等デイサービスの実施により、初診後の相談支援と療育指導が充実し、再診までの期間延長による受診頻度の引き下げが可能になったことで、新規患者の初診待機期間の短縮につながった。しかし、診療ニーズの増加に伴い、目標達成には至らなかった。 |
| 2 (40.0%) | 4 (40.0%) | 5 (33.3%) | 6 (30.0%) | 7 (28.0%) | 地域内の小児科医の不足等により受講者数が伸び悩み、目標達成には至らなかった。今後は、一層地域の医療機関との連携を図り、発達障害児を診ることのできる医師の養成・確保につなげる。 |

⑦地方創生拠点整備交付金（生産性革命）
※H29年度→H30年度繰越事業

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|---|-----|-----------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| 49 京都府の全産業の付加価値額（年間） | 百万円 | 4,783,499 | 4,783,499 | 4,803,499 | 4,823,499 | 4,843,499 | 4,863,499 |
| 50 起業数、事業承継件数（年間） | 件 | 300 | 300 | 330 | 360 | 390 | 420 |
| 51 海外市場とのビジネスマッチング成約金額、海外物産展等販売額（年間） | 千円 | 1,350,000 | 1,350,000 | 1,417,500 | 1,485,000 | 1,552,500 | 1,620,000 |
| 52 実証拠点(※)における実証実験が試作・製品化につながった件数（年間） ※センサーシェアリングによる自律ロボットの開発実証拠点（けいはんなロボット技術センター） | 件 | 0 | 1 | 6 | 11 | 16 | 21 |
| 53 実証拠点(※)の利用社数（年間） ※センサーシェアリングによる自律ロボットの開発実証拠点（けいはんなロボット技術センター） | 社 | 0 | 10 | 60 | 110 | 160 | 210 |

| 目標に対する達成状況・取組状況等 | | | | | |
|-----------------------------|----------|----------|----------|----|--|
| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
| H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | |
| 未発表 | 未発表 | 未発表 | 未発表 | | < R 5 年 6 月 頃 判 明 予 定 > |
| — | — | — | — | | |
| 179 | 146 | 270 | 289 | | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う京都経済センターの利用中止等の影響により、起業関連セミナー等が中止されたため、起業数が伸び悩み、目標達成には至らなかった。 今後は、中小企業応援センターによる起業支援をはじめ、京都経済センターを核としたオール京都体制で引き続き支援を進めていく。 |
| (59.7%) | (44.2%) | (75.0%) | (74.1%) | | |
| 1,051,800 | 901,640 | 451,280 | 670,590 | | 現地や府内の商社等と連携し、継続的に京都産品を販売する海外常設店の開設や、EC（電子商取引）の拡大が順調に進んだものの、海外渡航や海外からの入国が困難な状況が通年にわたり継続したことにより、海外展示会の出展やバイヤー招聘が実施できず、成約・販売額に影響を及ぼした。 引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響や、社会・国際情勢を注視するとともに、現地ニーズを把握しながら、継続的に京都の産品が輸出できる仕組みを構築していく。 |
| (77.9%) | (63.6%) | (30.4%) | (43.2%) | | |
| 0 | 8 | 11 | 20 | | 新型コロナウイルス感染症の影響によりリモート技術や自律制御技術の重要性が高まり、ドローンや自律走行ロボットの製品化、5G通信を活用した要素技術の試作化などが促進され、目標を達成することができた。 |
| (0.0%) | (133.3%) | (100.0%) | (125.0%) | | |
| 0 | 144 | 127 | 202 | | センター内に整備された5G基地局を活用し、遠隔手術支援や映像伝送技術等の遠隔・非接触・非対面の製品・サービス等の開発に向けた継続的な利用が促進され、目標を達成することができた。 |
| (0.0%) | (240.0%) | (115.5%) | (126.3%) | | |

⑧地方創生拠点整備交付金
※H30年度→R元年度繰越事業

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|------------------|-------------------|-----|-------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
| 54 | VR・eスポーツ交流施設の利用者数 | 人 | 0 | 0 | 20,000 | 40,000 | 45,000 | 50,000 |
| 55 | 亀岡市観光消費額 | 百万円 | 7,469 | 7,469 | 7,621 | 7,776 | 7,935 | 8,097 |
| 56 | 体験・歴史展示施設利用者数 | 人 | 0 | 0 | 43,800 | 58,400 | 73,000 | 80,300 |
| 57 | 亀岡市観光消費額(再掲) | 百万円 | 7,469 | 7,469 | 7,621 | 7,776 | 7,935 | 8,097 |

目標に対する達成状況・取組状況等

| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
|-----------------------------|------------------|------------------|----|----|--|
| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | |
| — | 112 | 2,362 | | | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う施設の休止により、利用者数が減少し、目標達成には至らなかった。 引き続き、施設の入場制限やイベントの開催制限等の動向を注視しながら、大規模eスポーツ大会の開催やIT人材育成セミナーの実施等を行い、利用者の確保に努める。 |
| — | (0.6%) | (5.9%) | | | |
| 8,620 (115.4%) | 4,845 (63.6%) | 4,275 (55.0%) | | | 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不要不急の外出や府県域を跨いだ移動の自粛等により、観光客数が減少した。引き続き、亀岡市と連携し、旅行者向けの広報等を強化するとともに、スタジアムやマルシェ等のイベント情報を広く府民に発信することで目標達成を図る。 |
| — | 120 | 570 | | | 試行的な施設開放等を含め、施設の日常管理及び運営を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格的な管理運営を行うことができず、利用者数が想定を大きく下回った。令和4年度から本格運用を開始し、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策も講じた上で、川下り等の河川を利用したアクティビティ体験教室や環境学習等を実施して利用者の確保に努める。 |
| — | (0.3%) | (1.0%) | | | |
| 8,620 (115.4%) | 4,845 (63.6%) | 4,275 (55.0%) | | | 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不要不急の外出や府県域を跨いだ移動の自粛等により、観光客数が減少した。引き続き、亀岡市と連携し、旅行者向けの広報等を強化するとともに、スタジアムやマルシェ等のイベント情報を広く府民に発信することで目標達成を図る。 |

⑨地方創生拠点整備交付金
※R元年度→R2年度繰越事業

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | |
|---|----|------|----------------|------|------|------|------|
| | | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 58 本事業(※)におけるスタートアップ等の新規入居者数(累計) ※スタートアップエコシステム けいはんな学研都市拠点整備事業 | 件 | 0 | 0 | 1 | 3 | 5 | 7 |
| 59 けいはんなプラザラボ棟・スーパーラボ棟の入居率 | % | 76.2 | 76.2 | 79.2 | 82.2 | 85.2 | 88.2 |
| 60 けいはんなプラザにおけるピッチ会の開催数(累計) | 回 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |

| 拠点整備交付金 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|------------|-------|-------|-------|
| 単年度達成率(%) | 92.0% | 90.1% | 90.7% |
| 最終目標達成率(%) | 72.6% | 69.9% | 71.1% |

目標に対する達成状況・取組状況等

| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
|-----------------------------|-----------------|----|----|----|--|
| R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| 0 | 13 (1300.0%) | | | | 産業支援機関やスタートアップ支援機関等との情報交換を密に行い、起業に取り組む企業へ積極的にアプローチしたことにより、目標数値を大幅に上回って達成することができた。 |
| 76 (99.7%) | 87 (109.8%) | | | | 新規企業の誘致、入居企業の拡張・増床を精力的に働きかけた結果、期初の75.8%から年平均86.8%に上昇し、2022年3月期には、過去最高の入居率（91%）を達成した。 |
| 2 | 3 (300.0%) | | | | 京都府内、大阪府内にあるスタートアップ支援6施設が連携してベンチャーキャピタル、金融機関等に各企業の技術を紹介した。 ◎主な参加企業：みずほ銀行、南都銀行、三菱UFJキャピタル、京銀リースキャピタル、日本ベンチャーキャピタル等 ◎参画施設：けいはんなプラザ、宇治市ベンチャー育成工場、D-egg、KICK、クリエーションコア東大阪、南港TEQC |

| 元年度 | 2年度 | 3年度 |
|--------|-------|--------|
| 119.1% | 86.1% | 162.7% |
| 97.3% | 82.1% | 61.0% |

⑩地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

| KPI(重要業績評価指標)の項目 | 単位 | 基準値 | 実施計画上の各年度の目標数値 | | | | | |
|---------------------------------------|----|----------------|----------------|-----|-----|------|------|------|
| | | | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 61 府内の国際会議開催件数 | 件 | 335.0 (H30) | — | — | — | 355 | 375 | 395 |
| 62 府内の国際会議開催件数のうち、京都市以外の府域で開催された会議の割合 | % | 8.7 (H30) | — | — | — | 10.0 | 12.0 | 15.0 |
| 63 京都市以外の観光消費額 | 億円 | 616 (H30) | — | — | — | 646 | 678 | 711 |

| 地方創生応援税制 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|-------------|--------|-------|-------|
| 単年度達成率 (%) | 104.6% | 99.8% | 94.1% |
| 最終目標達成率 (%) | 101.9% | 91.7% | 90.7% |

目標に対する達成状況・取組状況等

| 上段 = 実績数値 (下段 = 単年度の達成率) | | | | | | 達成率の説明・取組状況等 |
|-----------------------------|-----|-----|----------|---------|---------|--|
| H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| — | — | — | 405 | 31 | 5 | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により、国際会議の開催数は5件に留まった。令和3年度は、渡航制限が続くことが見込まれたため、京都府MICE開催支援助成金交付要綱を令和3年6月に改正し、国内会議の支援に力を入れることとし、学会等主催者や会議施設に働きかけを行ったが、引き続き、渡航制限等の状況を注視しつつ、府域で開催される国際会議開催件数の増加を図る。 |
| — | — | — | (114.1%) | (8.3%) | (1.3%) | |
| — | — | — | 4.0 | 9.7 | 0 | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により、国際会議全体の開催件数が大幅に減少し、京都市以外の府域での開催実績はなかった。令和3年度は、渡航制限等の解除後を見据えて、府域でのMICE開催の魅力を紹介するWEBページを作成し、京都文化交流コンベンションビューローのホームページ上に掲載したが、引き続き、渡航制限等の状況を注視しつつ、府域で開催される会議の割合増加を図る。 |
| — | — | — | (40.0%) | (80.8%) | (0.0%) | |
| — | — | — | 658 | 444 | 422 | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等の影響により、人の移動や交流が抑制され、観光消費額が大きく減少し、目標達成には至らなかった。今後は近隣地域からの誘客や地域の本物の魅力を活かした持続可能な観光の推進により、目標の達成を目指す。 |
| — | — | — | (101.9%) | (65.5%) | (59.4%) | |

| 元年度 | 2年度 | 3年度 |
|-------|-------|-------|
| 95.0% | 51.5% | 20.2% |
| 91.5% | 45.0% | 20.2% |

＜地方創生交付金等事業の主な取組内容＞

| ⑪地方創生推進交付金 事業名 | 事業概要 |
|---|---|
| <p>(9) 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業</p> <p>【該当KPI：1、2、3】</p> | <p>誘致する企業のサテライトオフィスを核に持続可能な地域づくりを進めるため、企業向けの誘致ツアーの実施や公共交通空白地における旅客・貨物の複合機能型サービスの本格導入を進めるとともに、過疎地域における雇用創出、人材確保支援、大学と地域が連携した地域課題解決の取組支援を展開する</p> |
| <p>(18) 北部地域連携都市圏ものづくり産業都市創造プロジェクト事業</p> <p>【該当KPI：4、5、6、7】</p> | <p>整備の進んだ高速道路網やアクセスの改善した日本海側拠点港「京都舞鶴港」を活かした物流ネットワークを活用し、京都府北部においてもものづくり産業の集積や交流等を促進し、ものづくり産業都市とすることで、地域産業の振興を図る</p> |
| <p>(19) 大河ドラマ「麒麟がくる」を契機にした「城下町」レガシープロジェクト事業</p> <p>【該当KPI：8、9、10】</p> | <p>2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の推進協議会を中心に広域プロモーション事業を行い各エリア間の周遊観光を促進するとともに、空き家・空き店舗や道の駅等を活用して起業・創業を支援することで各地域の「稼ぐ力」につなげる他、交流人口拡大とこれを契機にした地域特産品等の開発、各地域ブランドの定着により地域経済の活性化を図る</p> |
| <p>(20) 京都スタジアムを核とした賑わいづくり推進事業</p> <p>【該当KPI：11、12、13、14】</p> | <p>京都スタジアム及び周辺地域において、行政、事業者、各団体が連携してイベント等を展開するとともに、スタジアムと連携したイベントを継続的に実施する基盤づくりを行い、京都スタジアムを核とした新たな賑わいを創出することで、京都市中北部への交流人口の増加、地域経済の活性化を図る</p> |
| <p>(21) 「和食の聖地」ブランディングによる和食文化産業化推進事業</p> <p>【該当KPI：15、16、17】</p> | <p>和食やおもてなしについて科学的にアプローチにより「見える化」することで和食関連産業の「高付加価値化」を促進するとともに、和食文化というブランディングにより、伝統工芸品やブランド農林水産物の付加価値を高めることで産業としての裾野を広げ、また、京都府全域に食をテーマにした観光誘客等も通じて和食文化産業の創生を図る</p> |
| <p>(22) ＜移住支援・マッチング支援＞首都圏人材京都還流促進事業 ＜起業支援＞次世代人材育成・産業創造事業</p> <p>【該当KPI：38、39、40、41】</p> | <p>府内市町村と連携して就業のマッチング支援と一体となった移住支援を行い、首都圏から京都府への人材還流を図るとともに、人口減少地域の活性化や若者等の地域定着に向けた事業や高齢者・子育て世帯への支援などの社会的事業に対する起業支援を行い、事業所数増加を図る</p> |

主な取組内容

- ・北部ジョブパークにおける女性、中高年齢者、U・Iターン希望者への相談支援（H29年度9,117件、H30年度9,173件、R元年度9,453件、R2年度8,170件、R3年度8,987件）
- ・中山間地域における駅及び駅周辺のにぎわいづくりのための駅舎や駅前広場の改修（H29年度までに6駅完了）
- ・コミュニティバス等、地域の実情に応じた公共交通システムの導入に向けた実証実験（H29年度2件、H30年度1件、R元年度1件、R2年度1件、R3年度0件）
- ・旅客と食品の混載など複合型輸送サービスの構築に向けた実証実験及びその利用促進（H29年度2件、H30年度3件）
- ・市町村等と連携・共同し、日常生活に必要なサービスの提供や地域の活性化の核となるコミュニティコンビニ（京都版小さな拠点）の設置（H29年度3箇所、H30年度2箇所）

- ・産学公連携によるものづくり産業への技術相談等の実施（R元年度5,269回、R2年度6,923回、R3年度6,596回）
- ・UIターンのための都市部での就職フェア等出展（R元年度17回、R2年度13回、R3年度20回）
- ・地元での人材確保支援に向けた保護者向けの就活勉強会・面接会等の実施（R元年度7回、R2年度2回、R3年度5回）
- ・VR等先端技術を活用した技術習得支援研修による未経験者・新任者等育成（R元年度601人、R2年度208人、R3年度924回）
- ・京都舞鶴港の取扱貨物量の増加に向けたポートセールスの実施（R元年度1,280回、R2年度683回、R3年度924回）
- ・北部産業創造センターのサテライト機能として、府立工業高校・峰山高校内にレーザー加工機を導入（R元年9月導入）

- ・明智光秀ゆかりの地のPR動画を作成（テレビ放映R2年1月、2月）
- ・ツーリズムEXPOジャパン2019への大河ブース出展（R元年10月）
- ・京都舞鶴港への国際クルーズ等のポートセールスの実施（R元年度52回、R2年度10回、R3年度14回）
- ・鉄道会社と連携した明智光秀をテーマにした歴史文化講座を開催（R2年12月）、ツアー実施（R2年度207名参加）

- ・周遊バス（トロッコ亀岡駅～JR亀岡駅南口～湯ノ花温泉～猪倉）の運行
- ・アスリート向け弁当の開発・販売
- ・府内産食イベントの開催（R元年度1回、R2年度1回）
- ・森の京都・京都丹波EXPOの開催（R元年11月）
- ・保津川上流における川下り航路の開発
- ・スポーツイベントにおけるにぎわい状況調査
- ・スタジアムにぎわいづくり推進事業（ホームタウン市町と連携したにぎわいづくり）

- ・京都の伝統工芸品の技術や材料等を活用した新商品開発やその販路開拓に向けた国内外の展示会・見本市等への出展（R元年度7回、R2年度4回、R3年度1回）
- ・首都圏中食・外食産業と府内産地のマッチング会・産地見学会の開催（R元年度食材紹介セミナー5回、ファムトリップ1回、R2年度首都圏のクッキングスタジオで料理紹介5回、R3年度オンライン産地見学会3回）
- ・和食料理用の牛肉カッティング技術普及のための料理人派遣（R元年度シンガポールへ派遣、R2年度輸出を本格実施するための小冊子作成を実施）
- ・シンガポールでのレストランフェア、セミナーの開催（R元年度2回、R2年度4回、R3年度2回）
- ・地域食材を活かした料理のセミナー・お試し会の開催（R元年度26回、R2年度26回）

- ・マッチングサイトにおける求人掲載（R2年度416件、R3年度407件）
- ・移住支援金の支給（R元年度1件・100万円、R2年度1件・60万円、R3年度1件・100万円）
- ・起業支援金の支給（R元年度9件・1,357万円、R2年度11件・1,982万円、R3年度13件・2,404万円）
- ・投資家へのピッチや先輩起業家との交流による支援プログラムの実施（R元年度34件、R2年度30件、R3年度46件）

<地方創生交付金等事業の主な取組内容>

| ⑪地方創生推進交付金 事業名 | 事業概要 |
|--|---|
| <p>(23) 京都版女性等の就業加速化総合支援・退職人材活躍支援プロジェクト事業</p> <p>【該当KPI：42、43、44、45】</p> | <p>女性の多様な就業ニーズに合った就職支援を行うとともに、女性の進出が遅れている業種や人材不足業種の魅力発信による就業希望者の増加を図り、京都企業の人材不足解消と女性の更なる活躍促進による地域経済の底上げを図る。また、高齢者が働きやすい環境への改善を企業に働きかけるとともに、多様な働き方を推進する企業と高齢者のマッチングの機会をつくり、高齢者の就労促進と人手不足企業の課題解決を図る</p> |
| <p>(24) アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業</p> <p>【該当KPI：18、19、20】</p> | <p>文化芸術と工芸を融合させた「京都国際アートフェア」の開催を核として芸術人材の育成・キャリアアップや活躍できる場の創出により、アート&クラフトに関するヒト・モノ・カネが動く拠点都市「アート&クラフトのまち・きょうと」を形成するとともに、周遊観光の活性化等により京都府を中心に文化を「来て・見て・楽しむ」文化体験観光圏を作り出す。</p> <p>これらの取組を通じて府域全体にアート&クラフトの拠点や市場を形成し、アート&クラフトを核とした文化芸術産業の府域全体での創生を図る</p> |
| <p>(25) 農山漁村地域における若者を中心にした地域の新たな絆づくり事業</p> <p>【該当KPI：21、22、23】</p> | <p>地域支援体制の構築や地域の魅力創出の推進により、都市部から農山漁村地域への新たな人の流れの創出を図るとともに、特産品の商品化や移住を志す者への支援や環境整備等を実施し、農山漁村地域での新しい就業スタイルの創出を図る。</p> <p>また、地元の高校生を対象に、将来にわたって地域を支える人材を「京の担い手推進校」において育成し、地域を支える核となる人材育成を図る</p> |
| <p>(26) 中小企業事業強化・継続支援事業</p> <p>【該当KPI：24、25、26、27】</p> | <p>企業の経営課題をコーディネータが整理し、企業ニーズにあったプロフェッショナル人材のマッチングを支援することで、プロフェッショナル人材を獲得した府内企業が、事業承継をきっかけとした経営革新や事業転換等の事業強化を図る。</p> <p>また、プロジェクト等の課題解決を行う高度人材を副業・兼業形態も活用して首都圏等から呼び込み、さらに、金融機関と連携を図り、これまでにない多様なマッチングを行う</p> |

主な取組内容

<女性>

- ・スキルアップやマッチングを支援する人材バンクの設置（H31年4月開設、登録者数R元年度2,576人、R2年度2,082人、R3年度2,228人）
- ・女性が働きやすい環境整備に向けたアドバイザー派遣（R元年度108社、R2年度43社、R3年度52社）
- ・離職防止・定着支援に向けた相談等の実施（R元年度227件、R2年度115件、R3年度102件）

<高齢者>

- ・高齢者向けに、中小企業への就業意欲を醸成するセミナーを開催（R元年度7回、R2年度6回、R3年度6回）
- ・企業向けに、高齢者雇用を促進させるセミナーを開催（R2年度7回、R3年度6回）
- ・高齢者に特化した企業説明会の開催（R元年度10回、R2年度13回、R3年度13回）

- ・海外旅行会社・教育関連団体向け京都府教育旅行オンライン商談会（台湾市場・豪州市場）
- ・ナショナルジオグラフィック記事掲載（計6p）
- ・国内外バイヤー、クリエイター等によるオンライン工房訪問（R2年度延べ159人参加）
- ・新鋭選抜展の開催（R3.1.23～2.7）
- ・ARTISTS' FAIR KYOTO2021 CONNECTの開催（R3.1.23～3.14）
- ・京都アトラウンジの開催（R3.3.4～3.14）
- ・ARTISTS' FAIR KYOTO2021の開催（R3.3.6～3.7）
- ・ARTISTS' FAIR KYOTO : SATELLITE2021の開催（R3.3.4～3.21）
- ・KYOTO KOUGEI WEEKの開催（R3.2.19～2.21）
- ・KYOTO KOUGEI kyoto Crafts Exhibition DIALOGUEの開催（R3.3.10～3.14）
- ・時代劇フェスティバルの開催（R3.3.13～3.14）
- ・新鋭選抜展の開催（R4.1.22～2.6）
- ・京都アトラウンジの開催（R4.3.3～3.13）
- ・ARTISTS' FAIR KYOTO2022の開催（R4.3.5～3.6）
- ・ARTISTS' FAIR KYOTO : SATELLITE2022の開催（R4.3.3～3.13）
- ・Art Collaboration Kyoto（R3.11.5～11.7）
- ・KYOTO KOUGEI WEEKの開催（R3.11.6～3.14）
- ・KYOTO KOUGEI kyoto Crafts Exhibition DIALOGUEの開催（R4.3.9～3.12）
- ・時代劇フェスティバルの開催（R3.11.7）

- ・都市、農村交流に意欲有る移住者を対象に、農家民宿など、滞在型農山漁村体験の受入に必要な施設の整備を支援（R3年度2件）
- ・京の担い手推進校において以下の取組を実施
 - －地元企業から講習を受け、地元商品を生かした新商品開発に向け試作品を製作
 - －地域の農林水産業者による高性能機器に係る操作講習会の実施
 - －関連機関の職員や民間企業によるスマート農林水産業の先進事例についての講義
 - －スマート化施設の整備
- ・京の担い手育成推進会議を実施し、農業大学校及び農芸高校の現状及び課題の共有とカリキュラム連携について協議を実施

- ・中小企業の経営課題を把握するため、事業承継診断実施による訪問ヒアリング（R2年度3,093件、R3年度5,076件）
- ・プロフェッショナル人材の利活用の普及啓発を図るため、府内中小企業や金融機関等の支援機関に対し、セミナーを開催（R2年度8回、249人参加、R3年度7回、281人参加）
- ・中小企業に対する事業展開に必要な人材確保戦略を行うための専門家を派遣（R2年度56回、R3年度75回）

<地方創生交付金等事業の主な取組内容>

| ⑪地方創生推進交付金 事業名 | 事業概要 |
|---|--|
| <p>(27) 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業</p> <p>【該当KPI：28、29、30】</p> | <p>京都府の各地域が連携しつつ、「子育てにやさしいまち（誰もが住みやすいまち）の核づくり」や「地域での仕事づくり」、「関係人口の創出、若者定着促進」に取り組みながら、若者・子育て世代がそれぞれのニーズに応じた自身の考えるベストな居住地を京都府内で選択できる環境を創出し、府外への転出を抑制するとともに、京都の魅力（文化、自然、食など）に関心を持って移住を希望する者が自身の生活環境のニーズが叶えられる地域を選択できる状態を整えることで、府外からの移住促進を図る。</p> |
| <p>(28) あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～</p> <p>【該当KPI：31、32、33、34】</p> | <p>DMOを地域づくり支援法人へと進化させ、観光地域づくりの今までの成果を活かしつつ、「人口減少時代においても活力あふれる地域コミュニティづくり」や「若者等の地元回帰に向けた、地域の魅力ある仕事づくり」、「暮らしやすさ向上による移住定住の促進」、「外部から稼ぐ地域内経済循環の実現」に取り組み、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた地域振興に繋げる。</p> |
| <p>(29) スタジアム発！eスポーツ産業創造・育成事業</p> <p>【該当KPI：35、36、37】</p> | <p>サンガスタジアム by KYOCERA（京都府立京都スタジアム）の次世代Wi-Fi通信設備や映像配信設備等を活用し、全国規模のeスポーツ大会等を誘致・開催する。</p> <p>また、eスポーツの選手育成や大会運営を支えるイベンター人材の育成を行うとともに、eスポーツ関連領域であるプログラマーやハッカーなどサイバーセキュリティ人材の育成講座を実施する。</p> |

主な取組内容

- ・子育てにやさしいまちづくり事業において、「子ども・親子同士の交流の場」「子どもの居場所」づくりにつながる拠点整備や、それらを活用しつつ、企業など多様な主体と連携した仕組みづくりなど、地域全体で子育てしやすいまちづくりを進めるための市町村の取組をハード・ソフトの両面から包括的に支援（R3年度：8市町 94,558千円）
- ・「京都府子育て環境日本一推進会議」を設置し、地域や企業を含めた社会全体で子どもや子育て世代をあたたく見守り支え合う様々な取組をオール京都体制で推進。「風土づくり」「まちづくり」「職場づくり」の3部会を設置し、各分野の課題の深掘りや課題解決につながる新たな取組を検討。（R3年度：子育て環境日本一推進会議 1回、風土づくり部会 3回、まちづくり部会 3回、職場づくり部会 3回）
- ・インターンシップの推進等により学生の就職を支援（R3年度：相談件数（延べ） 4,653人、インターンシップ実施人数（延べ） 1,101人、就職内定者数 1,892人）

- ・農山漁村が有する地域資源を活用した魅力ある観光コンテンツを磨き上げ、地域をまるごと滞在施設化する取組を支援（R3年度 6地区）

- ・京都eスポーツ文化祭（eスポーツ大規模大会及びeスポーツ人材育成セミナー）の開催（R3年度）
- ・第一回キッズチェイスタグ日本選手権の開催（R3年度）

| ⑫地方創生拠点整備交付金 事業名 | 事業概要 |
|---|---|
| <p>(11) こども発達支援センター整備計画</p> <p>【該当KPI：46、47、48】</p> | <p>発達障害支援の拠点施設である京都府立こども発達支援センターに、専門職による寄り添い型の相談支援を行うことができる京都府独自の発達相談・地域支援センターを設置するとともに、専門的な診療部門や学校の取組とも連携した放課後等デイサービス提供による未就学から就学まで切れ目のない支援体制を構築する</p> |
| <p>(12) イノベーション・ハブ京都（仮称）整備計画</p> <p>【該当KPI：49、50、51】</p> | <p>オール京都で地域産業の振興を図る「京都経済センター」の中に、産学公連携による人材育成・人材確保、生産性向上拠点となる「イノベーション・ハブ京都（仮称）」を整備し、規模や業種を越えた交流と連携を通じて、京都独自の産業戦略の展開を重点的に実施する体制を構築する</p> |
| <p>(13) 共生型次世代技術実証拠点整備計画</p> <p>【該当KPI：52、53】</p> | <p>京都府のインキュベーション施設である「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」内に、全国初となるセンサーシェアリングによる自律ロボットの開発実証拠点（けいはんなロボット技術センター）を整備し、優れた技術を持つ中小・ベンチャー企業の市場参入を促進し、産業全体の生産性革命を図る</p> |
| <p>(14) 京都スタジアムVR・eスポーツ交流施設整備計画</p> <p>【該当KPI：54、55】</p> | <p>亀岡駅に近接する京都スタジアム内に、eスポーツ及びその産業の核となる「VR・eスポーツ交流施設」を整備するとともに、亀岡駅と京都スタジアム間の駅前広場にVR・AR展示場を整備し、亀岡駅南側に存在する旧城下町等の自然・歴史・文化とのコラボや対比を楽しめる新しいゾーンを形成し、異ジャンルのコラボによる集客効果を図る</p> |
| <p>(15) 「角倉了以の水運」体験施設整備</p> <p>【該当KPI：56、57】</p> | <p>森の京都エリアの中心となるビジターセンター機能を担い、周遊観光等の核となる拠点として亀岡市西部観光の拠点を整備するとともに、外国人が求める「一時間程度で楽しめる川下り」として、亀岡市の中心地域であるJR亀岡駅周辺への川下りルートを設定し、他圏域からの観光客の周遊観光による人の流れを生み出す</p> |
| <p>(16) スタートアップエコシステム けいはんな学研都市拠点整備計画</p> <p>【該当KPI：58、59、60】</p> | <p>スタートアップ企業等のニーズに応えるオフィス環境を整備するなど、大学・企業・行政・住民が自由に交流できる「場」をつくることで、関西ひいては日本のSociety5.0を実現させるオープンイノベーションの核の形成を図り、新産業の創出や企業の自転する仕組みを創るとともに、国内外からの人の流れを創り出す</p> |

主な取組内容

・京都府立こども発達支援センター敷地内（駐車場）に発達障害者支援センターこども相談室（愛称：ぐーちよきばー）と放課後等デイサービス事業所を整備

・京都経済センターの3、4階に、イノベーション・ハブ京都（中小企業ハンズオンセンター、産業・生活文化創造交流ゾーン、「京都」ブランド活用国際経済交流ゾーン、創造的人財育成ゾーン）を整備
・オール京都体制で中小企業のワンストップ伴走支援や、海外ビジネスに係る相談対応を実施
・オープンイノベーションカフェ（KOIN）を核に、様々な分野の方々が交流、連携するイベント及び人材育成事業を展開

（KOINの利用人数：R元年度 26,276人、R2年度 6,087人、R3年度 6,991人）

（プロジェクトルーム等の利用件数：R元年度 4,086件、R2年度 3,666件、R3年度 3,832件）

・本格化する自動運転車、自律移動ロボットなど次世代スマート技術の開発実証に必要なセンサープラットフォームの整備
・DXによる映画・映像制作の生産性向上や高度化を推進するため、次世代の映像制作技術開発に必要な環境・機材の整備

（実証拠点の利用件数：R元年度144件、R2年度127件、R3年度202件）

・京都スタジアム内に、VRを活用したスポーツ施設及びeスポーツ大会会場を整備
・スタジアムの1階から4階へ誘客できるようVR・eスポーツ交流施設の様子を展示する施設を設置
・VR・eスポーツ交流施設の利用促進のため、VRソフトを開発

・桂川の舟運文化の発信拠点及び周辺エリアの川下りを含むスポーツアクティビティの拠点を整備
・スタジアム上流の千代川から出発し、スタジアムへ到着する川下りルートを開発するため、新たな船着場を設置

・けいはんなプラザ入居者と近隣大学・研究所の研究員、住民とが交流できるイベントや商談、面談、休憩など様々な人が多目的に活用ができるスペース等入居者のニーズを取り入れた利用ができる施設になるよう令和3年度に改修し、今後、スタートアップ企業が抱える法務、税務、労務、融資、知財、人材採用等の課題の対処するためのミニセミナー・相談会を開催

| ⑬地方創生応援税制 (企業版ふるさと納税) 事業名 | 事業概要 |
|--|---|
| (4) MICE効果の府域全体への波及 促進プロジェクト 【該当KPI : 61、62、63】 | 国際会議の開催効果を、府域全体、そして会議参加者以外にも波及させるため、府域での国際会議や分科会の開催、エクスカージョンの実施などへの支援や、けいはんな学研都市における国際会議開催促進のための設備整備を行い、交流人口の増加や企業活動の活性化を図り、地域活力の向上を目指す |

主な取組内容

- WITHコロナ社会におけるMICEの現状調査やニーズ調査、支援内容のヒアリング等を実施
 - －国際会議開催支援（R元年度7件）
 - －インセンティブ・ツアーコンベンション分科会開催支援（R元年度1件）
 - －エクスカージョン支援（R元年度4件）
- 国連等主催の大規模国際会議支援（R元年度1件、R2年度1件）
- 渡航制限等の解除後を見据えて、府域でのMICE開催の魅力を紹介するWEBページを作成（R3年度）